

Q-19 市や区の体育行事を考慮しながら、年間カリキュラムを作成するために、留意することはありますか？

- ① 各運動領域の時数については、各校の実態やねらいに応じて、時数を調整することになる。
- ② 運動領域を色分けして例示しているのは、活動場所を表す。
「青色:運動場」「ピンク色:体育館」「黄色:教室」「緑色:プール」
- ③ 5・6年生をペアにして、運動場と体育館の使用割り当てを決めている場合は、学習が重ならないような単元配列をすることで、単元学習が連続して行える。

A校の

・ 休み時間や放課後など、運動を日常化できるように年間のはじめに「鉄棒運動」を設定する。

・ 保健学習は、宿泊体験学習などの行事との兼ね合いや養護教諭と連携を図りながら学習が進められるようにする。

・ 区球技大会の種目にある「バスケットボール」に向けて、簡易化されたゲームを通して学習を経験することで、運動の特性をつかむことができる。

前期	4月～								5月～								6月中旬～								9月～																						
学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
5年	体ほぐし②	体づくり②	陸上運動⑤ (短距離・リレー)						表現⑤ (表現)				器械運動⑧ (鉄棒運動)				水泳⑩ (クロール・平泳ぎ)				器械運動⑧ (マット運動)				保健③		ボール運動⑩ (ゴール型:バスケットボール)																				

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
6年	体ほぐし②	体づくり②	表現⑤ (表現)				陸上運動⑤ (短距離・リレー)				器械運動⑧ (マット運動)				水泳⑩ (クロール・平泳ぎ)				陸上運動⑤ (走り幅跳び)				体づくり運動⑥																								

・ 区球技大会の種目にある「サッカー」に向けて、簡易化されたゲームを通して学習を経験することで、運動の特性をつかむことができる。

・ 5月末に運動会を控えていることから、陸上運動を事前に学習ができるようにする。

・ 市体育大会の競技にある「走り幅跳び」の学習を経験することで、大会前の朝練習などでは、専門的な指導が可能になる。

・ 市体育大会の競技にある「長縄跳び」などを取り入れながら、学習計画を立てるようにする。

後期	10月～							11月中旬～							1月～							2月～3月																					
学年	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
5年	ボール運動⑧ (ゴール型:バスケットボール)		体づくり④			ボール運動⑧ (ゴール型:サッカー)				体づくり④			陸上運動⑤ (ハードル走)				器械運動⑧ (跳び箱運動)			保健⑤		陸上運動⑤ (走り高跳び)																					

学年	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
6年	ボール運動⑧ (ベースボール型)				表現⑥ (表現)				器械運動⑧ (跳び箱運動)				保健⑧				陸上運動⑤ (ハードル走)				ボール運動⑩ (ネット型)																						

